

**公益財団法人横須賀芸術文化財団**  
**令和6年度第2回評議員会**  
**議 事 録**

- 1 開催日時** 令和6年6月28日（金）10時30分から11時25分まで
- 2 開催場所** 横須賀市産業交流プラザ 第1研修室
- 3 出席者** 評議員総数 5名  
出席評議員 4名  
上田滋、菊池匡文、倉林孝英、下里矩生  
出席理事 2名  
木村忠昭（代表理事・理事長）、福本眞和（業務執行理事・常務理事）

**4 議 長** 倉林孝英

**5 決議及び承認事項**

議案第2号 令和5年度事業報告及び決算について

議案第3号 監事の任期満了に伴う選任について

**6 報告事項**

- ・令和5年度第2回理事会以降の理事会の決議事項について
- ・令和5年7月1日以降の職務の執行状況について
- ・特定天井改修工事について
- ・野島 稔 メモリアル・コンサートについて
- ・個人情報の漏えいについて

**7 議事の経過概要及びその結果**

定刻に出席評議員全員の着席を確認し、天沼業務部長が開会を宣言。

定款第18条の規定に基づき、出席した評議員の互選により倉林評議員が議長に選出され、併せて、定款第22条第2項の規定に基づく議事録署名人となった。

倉林議長が定款第19条第1項に規定する定足数を満たしていることを確認し、本評議員会が有効に成立した旨を宣言。

倉林議長が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、その後議案の審議に入った。

**(1) 議案第2号 令和5年度事業報告及び決算について**

芦川事業課長（事業報告）及び佐久間管理課長（決算）が詳細を説明。

事業報告については、公益財団法人横須賀芸術文化財団は、横須賀芸術劇場及び横須賀市立ベイスクエア・パーキングの指定管理期間第3期の最終年度（10年目）を終了した。令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、当劇場を含め市内経済が回復し、活況を取り戻したことを実感する年になった。次期指定管理期間に向け、これまで培った経験と実績を活かした効果的な事業を展開できるよう、継続して収支改善に取り組み、安定的な財政基盤の確立に努めた。施設維持管理においては、芸術劇場と駐車場ともに、利用者に安全・安心・快適な利用環境を提供できるよう、環境整備やサービス向上に取り組んだ。また、特

定天井改修に向け、市の実施設計策定業務をサポートした。

芸術普及事業においては、開館以来初のロングラン公演として、広域からお客様が来場し、連日満員となった「日生劇場ミュージカル『ラ・マンチャの男』」をはじめ、話題性や独創性のある公演など、年間を通じてバラエティ豊かな公演ラインアップを実現し、多くの鑑賞機会を提供した。また、地域イベント「横須賀トモダチジャズ」と「YOKOSUKA ROCK'N ROLL FESTIVAL 2023」に共催し、令和8年度に開催を予定している「音楽フェス」に向け、ノウハウの蓄積につなげた。

芸術育成事業においては、劇場合唱団の運営、劇場オープンデーの開催、アーティスト派遣事業の実施など、幅広く展開した。

決算については、トータルで黒字決算となり、4つのトピックスがあった。1つ目は、劇場の施設利用が好調に推移し、令和5年度までの指定管理期間10年間の最高収益を記録した。2つ目は、横須賀市から光熱費値上げに伴う影響額の補助金があった。3つ目は、収益を利用者・市民に還元する取り組みとして、利用者から要望のあった設備の改修などを実施した。4つ目は、「音楽フェス」の財源に充てるため、新たに音楽フェス特定資産を積み立てた。

一般正味財産期末残高は254,165,503円、指定正味財産期末残高は1,239,781,889円、正味財産期末残高は1,493,947,392円で、前年度と比べ74,755,795円増となった。また、公益財団法人の認定上の3つの財務基準については、すべてクリアした。総じて令和5年度については、事前に計画した事業の見直しの効果もあり、予算と比べ大幅にプラスに転じることができた。引き続き増収と経費削減に努め、経営改善を進めつつ、予定されている大劇場の休館期間中においても、魅力ある事業展開にチャレンジすることなどが説明された。

続いて、去る令和6年6月3日に長堀・仁平両監事によって行われた、令和5年度における理事の職務の執行についての監査では、事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示していることが報告された。

評議員から質疑がなされなかったことから、倉林議長が諮った結果、原案どおり全員一致で承認された。

## **(2) 議案第3号 監事の任期満了に伴う選任について**

佐久間管理課長が詳細を説明。

本評議員会の終了をもって、仁平純一監事が任期満了を迎える。令和6年度第2回理事会（令和6年6月6日に開催）議案第5号において、次のとおり候補者が選出された。併せて候補者については、本評議員会において選任された場合に即時就任する旨の承諾を得ていることが説明された。

<監事>仁平純一氏（重任）

評議員から質疑がなされなかったことから、倉林議長が諮った結果、原案どおり全員一致で承認された。（被選任者は、即時就任した。）

### （3）報告事項

#### ・令和5年度第2回理事会以降の理事会の決議事項について

佐久間管理課長が報告。

令和5年度第4回理事会議案第17号では、令和6年度事業計画及び予算が審議され、承認されており、令和6年度は、長期休館を反映し、例年に比べ非常にコンパクトな内容としたこと。特に施設の維持管理の面においては、コストの抑制と同時に、休館明けを見据えた機能維持という観点も意識し、効率的に取り組んでいくことなどが報告された。

この報告事項に対し、次の質疑応答があった。

- ・上田評議員：長期休館に伴い、委託業務の仕様を見直して支出を抑えるということだが、委託業者との交渉は難航しなかったか。
- ・佐久間管理課長：舞台運営をはじめとする各取引先に対して、業務や人員を見直したい旨の依頼をした。雇用も関係することでご無理を申し上げたが、ご理解をいただける形となった。

#### ・令和5年7月1日以降の職務の執行状況について

佐久間管理課長が報告。

芸術劇場指定管理業務に係る横須賀市宛て月次及び年次報告を行ったことなどが報告された。

#### ・特定天井改修工事について

佐久間管理課長が報告。

特定天井改修工事における休館期間、工事内容等が報告された。

#### ・野島 稔 メモリアル・コンサートについて

芦川事業課長が報告。

昨年終了を発表した「野島稔・よこすかピアノコンクール」の集大成としての意義と、令和4年5月に逝去された野島稔氏を偲び開催したコンサートの開催結果が報告された。

#### ・個人情報漏えいについて

芦川事業課長が報告。

当財団の発送物において個人情報漏えいしたことについて、経緯、漏えい対象者への対応、今後の防止策等が報告された。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、11時25分、議長が閉会を宣し、解散した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長が記名押印する。

令和6年6月28日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議長  
評議員

倉林孝英

印

本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名

公益財団法人横須賀芸術文化財団

常務理事（事務局長） 福本眞和

総務部管理課 渡邊信博